

2024年度全日本柔道連盟事業報告



2025年4月



公益財団法人 全日本柔道連盟

【2024年度主な事業活動内容】

- ①日本代表選手の活躍:2024アブダビ世界選手権大会・2024パリオリンピック
- ②2024年度全日本柔道連盟主催大会
- ③「長期育成指針」の策定
- ④安全な競技活動のための取り組み
- ⑤「Judo for ALL」の推進
- ⑥「安全なころび方と体づくり教室」の開催・「受け身のススメ」
- ⑦女子柔道の振興・女子柔道家の活動支援
- ⑧動画配信事業
- ⑨柔道を通じた人づくり・人間教育



【①日本代表選手の活躍:2024アブダビ世界選手権大会】

- 開催国 アブダビ(アラブ首長国連邦)
- 日程 5月18日(土)~24日(金)
- 配信 U-NEXTにて全試合LIVE配信

60kg級	永山 竜樹(2回戦敗退)	中村 太樹(3位)
66kg級	田中 龍馬(優勝)	武岡 毅(2位)
73kg級	石原 樹(2位)	
81kg級	老野 祐平(3回戦敗退)	
90kg級	田嶋 剛希(優勝)	
100kg級	新井 道大(3位)	
100kg超級	太田 彪雅(2回戦敗退)	

48kg級	古賀 若菜(3回戦敗退)	
52kg級	白石 響(5位)	大森 生純(3回戦敗退)
57kg級	玉置 桃(3位)	
63kg級	堀川 恵(3回戦敗退)	
70kg級	田中 志歩(3位)	
78kg級	濱田 尚里(3回戦敗退)	
78kg超級	富田 若春(優勝)	新井 万央(3回戦敗退)



男女混合団体戦 優勝【7連覇達成！】

【①日本代表選手の活躍:2024パリオリンピック競技大会柔道競技】

- 開催国 パリ(フランス)
- 日 程 7月27日(土)~8月3日(土)

日程	女子	男子	テレビ放送
7月27日(土)	48kg級:角田 夏実(優勝)	60kg級:永山 竜樹(3位)	【予選・決勝】TBS系列/NHKBS
7月28日(日)	52kg級:阿部 詩(2回戦敗退)	66kg級:阿部 一二三(優勝)	【予選】テレビ朝日系列 【決勝】NHK
7月29日(月)	57kg級:舟久保 遥香(3位)	73kg級:橋本 壮市(3位)	【予選】テレビ朝日系列 【決勝】NHKBS
7月30日(火)	63kg級:高市 未来(2回戦敗退)	81kg級:永瀬 貴規(優勝)	【予選・決勝】日本テレビ系列/NHKBS
7月31日(水)	70kg級:新添 左季(7位)	90kg級:村尾 三四郎(2位)	【予選・決勝】NHK
8月1日(木)	78kg級:高山 莉加(5位)	100kg級:ウルフ アロン(7位)	【予選】Tver 【決勝】フジテレビ系列/NHKBS
8月2日(金)	78kg超級:素根 輝(7位)	100kg超級:斉藤 立(5位)	【予選・決勝】NHK
8月3日(土)	男女混合団体(2位)		【予選・決勝】NHK



【②2024年度全日本柔道連盟主催大会】

	大会名	開催状況
①	全日本選抜柔道体重別選手権大会(福岡国際センター)	2024/4/6～4/7
②	皇后盃全日本女子柔道選手権大会(横浜武道館)	2024/4/21
③	全日本柔道選手権大会(日本武道館)	2024/4/29
④	全日本小学生柔道育成プロジェクト(横浜武道館)	2024/8/25
⑤	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会(高崎アリーナ)	2024/9/7～9/8
⑥	マルちゃん杯全日本少年柔道大会(東京武道館)	2024/9/22
⑦	講道館杯全日本柔道体重別選手権大会(高崎アリーナ)	2024/11/2～11/3
⑧	グランドスラム東京(東京体育館)	2024/12/7～12/8
⑨	文武両道杯全国高校柔道大会(講道館)	2024/12/14
⑩	全日本シニア柔道体重別選手権大会(大浜武道館)	2025/2/22～2/23
⑪	全国高等学校柔道選手権大会(日本武道館)	2025/3/19～3/20
⑫	柔道マガジン杯全国中学生柔道大会(横浜武道館)	2025/3/22～23

【③長期育成指針の策定】

長期育成指針は、「柔道人口の減少」という問題を解決するために、現代社会における柔道の役割と価値を再定義すべく策定した新しい指針です。

多様性を認め合い、性別、年齢の違いや障がいの有無にかかわらず、全ての人々が個人の成長を感じ、助け合う。このような自他共栄の精神が広がっていくよう、当連盟の戦略的グランドデザインとして位置付け、革新的パスウェイ特別委員会を中心に各種活動に取り組んで参ります。

「長期育成指針」と「みんなの柔道」

SPECIAL TALK SESSION
「日本の柔道界に今、必要なこと」

石井孝法 井上康生

みんなの柔道 結び、つづける。

長期育成指針への想い

柔道のありかたを再考、正位

柔道の未来を共に考える「日本の柔道界」の未来

長期育成指針「みんなの柔道」の詳細はこちらからご覧ください。▶



みんなの柔道 結び、つづける。

様々な価値観が浸透し、変化し続ける時代のうねりの中で、今、柔道に何が求められるだろう。

柔道には本来、個性の数だけ、皆に寄り添える魅力が存在する。

それは、心や身体を強くする手段として、日常に活かせる学びの場として、

あらゆる場所であらゆる個性にひらかれた、様々な柔道の姿がある。

これからも、時代は変わりつづける。

だからこそ私たちは、人々の想いを結びつづける。

みんなの個性を、もっと愛してゆくために。

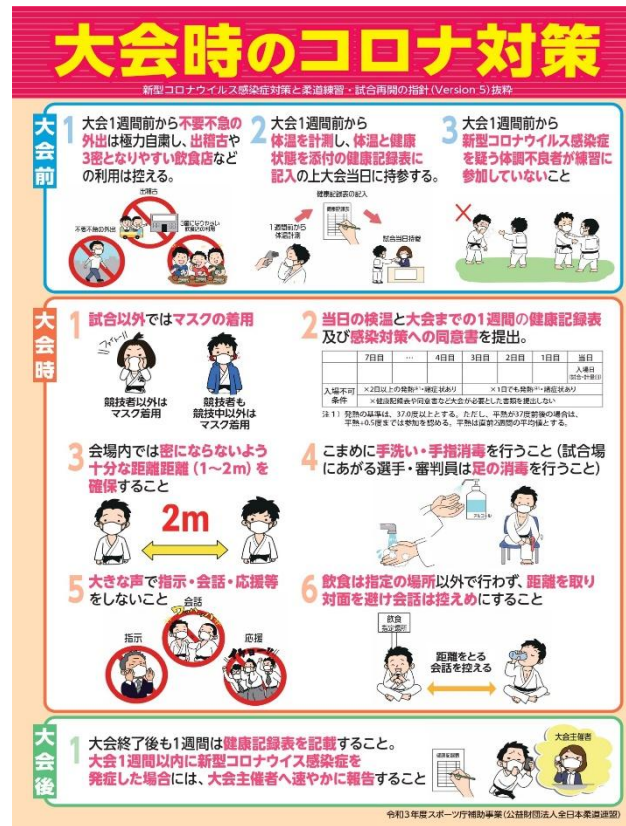


【④安全な競技活動のための取り組み:重大事故対策委員会】

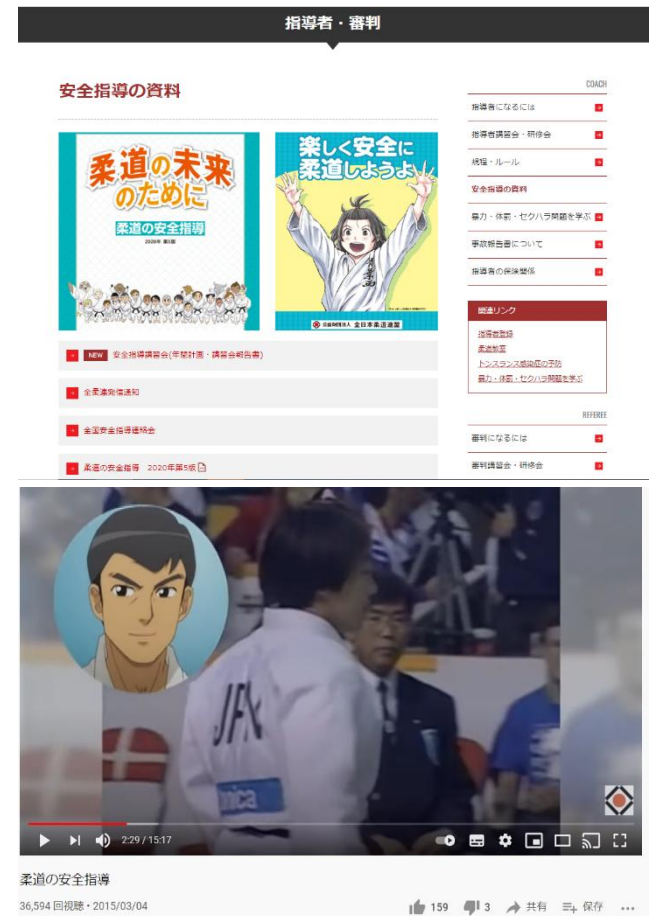
重大事故ゼロを目指した取り組みとして、漫画版のわかりやすく親しみやすい資料や重大事故を未然に防いだ指導者の好事例集など、新たな視点の事故防止の資料集を作成し、安全な柔道の活動のため啓発事業を行っております。



漫画版啓発冊子



イラストガイド



連盟HPでの情報発信

【⑤Judo for ALLの推進】

「Judo for All」のスローガンのもと、年齢、性別、障がいの有無の分け隔てなく、誰もが柔道に親しめる環境作りに取り組んでおります。パラリンピック競技である視覚障がい者柔道のみならず、関連団体との連携を深め、知的障がい者柔道やろう者柔道の振興を目指します。



IBSA柔道グランプリ2023(東京体育館)



グランドスラム東京2023における
パラ柔道デモンストレーション



パリ2024パラリンピック柔道競技大会
代表内定選手発表記者会見

 NPO法人 日本視覚障害者柔道連盟
OFFICIAL WEBSITE

*Special
Olympics*
Nippon 

 公益財団法人 全日本柔道連盟

 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会
JPSA JAPANESE PARA-SPORTS ASSOCIATION

日本ろう者柔道協会

2024年度より発達障害をもつ
子どもたちを対象として、
柔道を活用した取り組みの推進を
はじめています。

 ANISA 一般社団法人 全日本知的障がい者スポーツ協会

【⑥各年代に応じた普及プログラムの開発・実証・展開】

柔道を幼児から高齢者までがより安心安全に触れることのできる武道・スポーツとするための施策に取り組み、各年代、その時々状況に応じて楽しめるようなプログラムを開発し、実証・展開を試みています。

子ども向けプログラム

JSPO-ACP@柔道場

- 楽しみながら体力を養成
- 柔道の練習としても効果的なメニューも



中高年向けプログラム

7割柔道クラブ

- 柔道を楽しむ
- 怪我をしない、させない
- 疲れても無理をしない



シニア向けプログラム

転倒予防&健康体操in柔道場

- 日常生活における転倒予防
- 体力維持を目指すエクササイズ
- 柔道の受け身を応用



【⑦ジェンダーバランスの推進(女子柔道振興委員会)】

都道府県連盟における女性役員の登用促進や女子学生へのキャリアアップセミナーを実施し指導者・審判資格の取得、競技引退後の充実を図り、各ステージにおける女子柔道家の活躍を促進しております。また、当連盟においても、積極的に女性役員を登用し、ジェンダーバランスの推進を行っております。

今年度も女子柔道キャリアアップセミナーのWEB開催、JJ Voice企画の実施等を実施しております。



▲女子柔道キャリアアップセミナー

2024年7月13日(土)に実施
参加者の利便性向上し、
全国21大学約300名が参加



▲スマイルルーム

連盟が主催する大会において、
大会会場内に託児室を設置



▲JJ Voice

女子柔道にゆかりの深い方々
にリレー形式で今後の女子柔
道界や後輩たち、そして柔道
ファンへ勇気とパワーをお届け
するメッセージを発信



【⑧動画配信事業(全柔連TV)】



新たな情報発信プラットフォームとして

2021年より運用

チャンネル登録：約7.2万人

視聴回数：約3547.7万回

総再生時間：約271.1万時間



各大会のライブ配信・ベスト一本・個別試合動画・英語解説付き試合動画



オリンピック代表選手紹介動画

長期育成指针对談動画

就任記者会見

【⑨柔道を通じた人づくり・人間教育:柔道MIND活動】

礼節(Manners)・自立(Independence)・高潔(Nobility)・品格(Dignity)の頭文字を取り

2014年に始まった「柔道MIND活動」

子供たちが柔道を通してこれらの精神を身につけ、鍛えた心身を活かして次世代の社会を担う人材となるよう、人づくり・人間教育に引き続き取り組んでまいります。



【ご参考(支援企業一覧)】 ※2024年6月1日現在

年間スポンサー 一覧

2024年6月1日現在

私たちは全日本柔道連盟を応援しています

特別賛助会員 一覧

2024年5月31日現在 五十音順

賛助会員一覧(法人・団体)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	株式会社タナチョー
ニッセイ保険エージェンシー株式会社	日本中央競馬会

公益社団法人愛知県柔道連盟	公益社団法人青森県柔道連盟	EBAテック株式会社	有限会社伊志剛商店
ACSジャパン株式会社	SSビジョン株式会社	公益社団法人大阪府柔道連盟	株式会社オオヤギ
公益社団法人香川県柔道連盟	公益社団法人神奈川県柔道連盟	神奈川県柔道連盟 管務地区	川崎市柔道協会
公益社団法人岐阜県柔道連盟	京葉ガス株式会社	健心館中道場	医療法人光仁会 光仁会病院
宗教法人 高念寺	光文堂株式会社	株式会社光陽社	興和ティムス株式会社
興和ビルメンテナンス株式会社	公益社団法人埼玉県柔道連盟	有限会社サハネット	三任企業株式会社
株式会社三友社	湘南地区柔道協会	関形商事株式会社	株式会社ソーケン
株式会社大興	医療法人社団高橋胃腸科内科医院	公益社団法人千葉県柔道連盟	株式会社ディー・エイ・エス
学校法人東海大学 望星学塾	東京広告株式会社	株式会社東洋マージナルアーツディストリビューション	公益社団法人徳島県柔道連盟
公益財団法人戸高育英会	公益社団法人栃木県柔道連盟	公益社団法人長野県柔道連盟	公益社団法人新潟県柔道連盟
株式会社高橋工所	日産バイフライン&エンジニアリング株式会社	公益社団法人日本柔道連盟	学校法人花田学園 日本柔道連盟専門学校
株式会社ビックバン	医療法人社団白菊会	公益社団法人福岡県柔道連盟	株式会社不動トラ
株式会社ブレインズ・ネットワーク	公益社団法人宮城県柔道連盟	公益社団法人山口県柔道連盟	横須賀地区柔道協会
			匿名9社

敬称略、五十音順

2024年5月1日現在